

2010年4月22日



5月はリーバイス®月間
「501® Day」記念 リーバイス® ストア渋谷店限定イベント
「デニム カスタマイズ 工房」
2010年4月29日（金）、30日（土）、5月1日（日）開催

リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区）では、5月をリーバイス®月間とし様々なイベントやキャンペーン、限定商品の販売を予定しています。その第一弾として5月1日の「501® Day」を記念し、4月29日（金）からの3日間、昨年12月にオープンしたリーバイス®ストア渋谷店にて商品をお買い上げの方にデニム加工を実施します。

リーバイス®ブランドにおいて最も長い歴史を持つ品番、「501®」。1890年にワークウェアとして誕生、幾度ものアップデートを繰り返し現代に至ります。2010年で120年という時を刻むこのプロダクトは今や世界中の人々に愛され、ジーンズの代名詞ともいべきプロダクトです。

リーバイ・ストラウス社はこの品番に因み、全世界で5月1日を「501® Day」と掲げています。また1873年5月20日にジーンズの中で初めてリーバイス® ジーンズの特許申請が受理されたことから5月20日を「ジーンズ誕生の日」としています。

これを記念して、アジア パシフィック・ディビジョンでは2010年、サンフランシスコ本社アーカイヴに眠る一本のヴィンテージ・ジーンズをモチーフにした記念すべき「501®」を発売します。

これは、「Homer Campbell」という一人のワーカーが炭鉱での過酷な状況から自身を守るため、デニムのハギレを用いカスタマイズを施したという歴史を持つものです。世紀を越え、今尚、現存するその威風堂々たる姿は、ジーンズの耐久性を証明し、リーバイ・ストラウス社の重要な資産です。

さらにリーバイス®ストア渋谷店では、「501®」から受け継がれる「カスタマイズ」という概念と、現代のジーンズ・シーン、つまり「ファッション」とを繋ぎ、デニム加工を実施します。リーバイス®ストア渋谷店にて「501®」ほか様々なラインナップ、またスカートやショートパンツなどのデニムアイテム（※一部商品を除く）をお買い上げ頂いた方に、スワロフスキー社のクリスタライズでのデコレートを実施します。

「501®」を筆頭にデニムというキャンバスで、自由にカスタマイズするというユーザーの新しいデニムアイテムの楽しみ方を提案するスペシャルなイベントです。

リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 エビスガーデンプレイスタワー22F
<Free Call:0120-099-501>
<Official HP:levi.jp>

“Denim Customizing”

- 期間： 4月29日～5月1日
- 場所： リーバイス®ストア渋谷店
住所：東京都渋谷区宇田川町17-2 渋谷伸工ビル
TEL：03-5456-9657
営業時間： 11：00-21：00
アクセス： JR渋谷駅ハチ公口より徒歩3分
- 内容： スワロフスキー社のクリスタライズを使用した有料デコレートサービス
対象アイテムをお買い上げの方にお好みのデザインとクリスタライズのカラーをチョイス頂き、お好きな場所にデコレートします。
※デコレートは一部お受けできない箇所もございます。
- 対象アイテム： 「501®」ほか様々なラインナップ、またスカートやショートパンツなどのデニムアイテム（※一部商品を除く）
- 加工料： ￥525～￥4,200
- お渡し： 約2週間後

“501® Asia Limited Edition”

2008年にフルモデルチェンジした最新の501®をベースに、目を引くスペシャルな加工を施した一本。

サンフランシスコ本社に眠る、Homer Campbellという炭鉱夫のジーンズを現代風に解釈しました。Campbellは、仕事のため1917年に501®を購入、炭鉱での過酷な状況から自身を守るためにデニム生地でパッチワークを施しました。1920年、彼は3年間穿いてきたこのジーンズをサンフランシスコ本社に贈ったとされます。穿き込まれたその姿はカスタマイズ部はダメージを受けながらもがらも、本体の状態は非常に良く、501®の耐久性そして品質の高さが分かるものとなりました。その日から今日まで、このジーンズの現物は本社アーカイブに大切に保管されています。

Homer Campbell にインスピレーションを受け、501®の最新のシルエットに描いたのが、このアジア限定のスペシャルモデルです。まるで色褪せたかのような表情になるまでユーズド加工を施し、さらに幾重にもパッチを貼りカスタマイズ。圧倒的な存在感は、ジーンズの創世記、そして本物のワーカー達のスピリットを現代に紡ぎます。さらに本モデルの内部にはよりスペシャル感が演出されるシリアルナンバーも入ります。



Product Code & Color Name: 08501-0321 Love To Death ¥16,800
Size: 28 , 30 , 32 , 34

“501® Levi’s® Store Limited Edition”

さらにLevi’s® Storeではカスタマイズというテーマのもと、更なるバリエーションを提します。

501®をベースにリップド（生地縦糸を切り横糸を残す手法）、リペア、ペイント等々、多種の加工を施しました。

今春注目の淡い色や、これから穿きこむことで更なる変化が楽しめる人気のダーク調のカラー、そしてクラッシュ&リペアに加え、表面にペイントやコーティングを施し、より深みのあるインディゴブルーを実現した3カラーがラインアップ。どれも職人の手により、非常に迫力ある存在感を実現しています。

シルエットはアジア限定モデル同様、2008年にフルモデルチェンジした501®を使用。これはスキニーやブーツカット、様々なトレンドが存在する現代において、これからの時代に向けたグローバルスタンダードのストレートを生み出すべく、世界10都市の消費者リサーチを経て完成させた経緯を持ちます。モデルチェンジ以来、非常に好評なシルエットをベースにしました。



右から

Product Code & Color Name :

00501-1005 Mid Hard Crush ￥18,900

00501-1019 Mid Crush ￥15,750

00501-1020 Light Crush ￥15,750

Size: 29,30,31,32,33,34, 36

Story of Jeans

<ジーンズは模倣ではない。本物である。I'm Levi's®>

今現在、世界中の様々な人々に愛され、誰もがワードローブに取り入れているジーンズ。それは、長い年月と共に、色が落ち、擦り切れていきます。それは、本来ワークウェアであったからこそ、極限まで使い込まれることに価値が見出された結果であり、そこには穿く人の個性、そして生き方そのものまでも映し出してしまう。そんなジーンズの存在は、数ある衣服の中では他には無い特別な存在であり、衣服という枠の中には収まらない、ある意味、人が生きた証、人生そのものなのではないでしょうか。

そもそものジーンズの誕生は、生地のリベットを打ったことに始まります。^{*1)}

アメリカ西部開拓地にて、未だ見ぬフロンティアを目指す炭坑や鉄道工事現場の労働者を支えるかけがいのないウエアとして。^{*2)}

そのジーンズを生み出したのがリーバイ・ストラウス^{*3)}です。

ジーンズはワークウェアとして、「必要」から生まれたのです。

後に、その新しくタフなウエアは、庶民の日常生活にも広く浸透していきました。素晴らしいクオリティと共に広く愛されていたリーバイス®ジーンズは、次第に模倣の対象となり、類似品が多く作られるようになりました。そこで、使用に堪えうるクオリティの証やブランドを判別するために、バックポケットにはレッドタブ^{*4)}、アーキュエットステッチ^{*5)}がブランドサインとして、そしてクオリティの証としてツーホースパッチ^{*6)}つけられました。さらにはそれ自体がジーンズの代名詞とも言えるロットナンバー「501®」が製品にはじめて付けられたのです。これらは今でもジーンズの欠かすことが出来ない要素として、その役割を果たしています。

「必要」から生まれたジーンズは、時代が移り変わり、金鉱労働者のワークウェアから日常着となり、さらに現在ではファッションアイテムに欠かせない存在となりました。^{*7)}時代が変わる様々な歴史的出来事、そんな歴史を変えた時代の寵児達の傍らには常にリーバイス®ジーンズがありました。時代が拓かれると共に、ジーンズが社会的な意義を強く持ち始めたのです。いつしか世界中で、ジーンズ自身が時代を切り開くアイコンとなっていくのです。

現在においてジーンズは、よりパーソナルな形をとるようになりました。自己表現はファッションという形で現され、ファッションシーンにおいてだけでなく、時代のスタイルそのものをリードしています。ジーンズは創造から生まれ、そしてこれからも想像という名のフロンティアを開拓し続けていきます。

<I'm Levi's® 原点という生き方>



*7) ジーンズがワークウェアから日常着、そしてファッションアイテムに変化